

進路だより

令和2年6月4, 5日

第2号

進路指導部

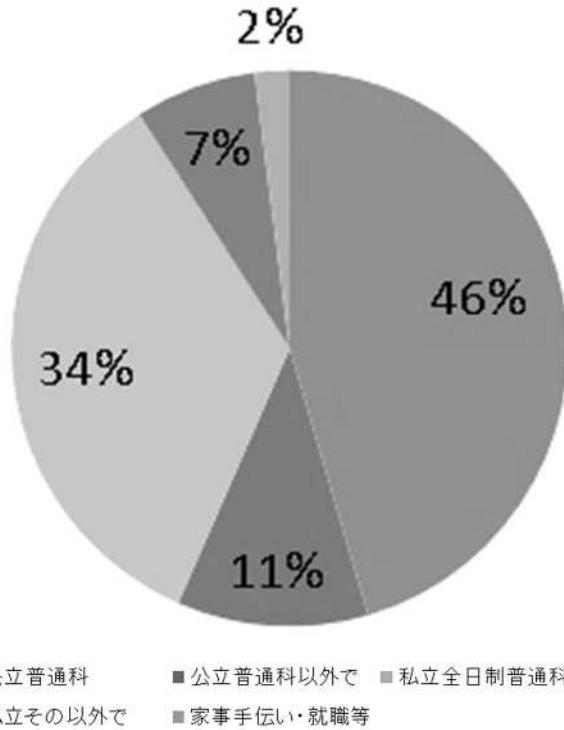
中学卒業後の進路先を知ろう！

令和元年度 卒業生進路先

今回は、中学校卒業後について、どのようなものがあるかというと、大きく分けて、進学するか就職するか、の二択になります。

右に載せているのは、昨年度の卒業生の進路先を示したグラフになります。「高等学校」と言っても様々な種類があることがわかると思います。

公立？私立？普通科？普通科以外って何？全日制？グラフを見るだけでわからないことがたくさんあると思います。一つ一つ説明していくので、確認してください。



| 公立と私立の違い

公立高校・・・「京都府立○○高等学校」や「京都市立○○高等学校」とつく学校が京都では主となります。

入学試験は基本的に2月中旬頃に行われる前期選抜と、3月初旬に行われる中期選抜の2回で大半の合格者が決定します。定員に達していない場合は、3月下旬に後期選抜が行われることもあります。

そして、原則として3年間で卒業できる課程です。

私立高校・・・学校法人が設置する、国立および公立に該当しない高等学校です。

それぞれの学校が、教育理念を基に特徴を持っています。

入学試験はそれぞれの学校ごとに回数も含めて設定しています。2月中旬にあります。

原則として3年間で卒業できる課程です。

II 普通科と普通科以外の違い

普通科・・・一番多くの人が通っている科であり、中学校まで学んできた学習をベースに更に学びを深めていく学科です。

普通科以外・・・専門学科と呼ばれるものです。工業科や農業科、家政学科など、それぞれの分野でより専門的な内容について学習していく授業が多くある学科になります。

III 全日制と定時制と通信制の違い

全日制・・・平日の昼間に授業を受けます。ただし、土曜日の午前などは学校によっては授業のある学校もあります。3年間で卒業になります。

定時制・・・夜間定時制と昼間定時制の2種類あります。

夜間定時制は平日毎日夕方から登校し、原則として4年間で卒業できる課程です。

昼間定時制は平日の週3~5日登校し、原則として4年間で卒業できる課程です。

通信制・・・主に自宅でのレポート学習を進め、スクーリングやテスト、学校行事では学校に登校する。原則として4年間で卒業することができます。

IV 就職

中学校を卒業してすぐに就職の道を進む人は、自分の将来を選ぶということでは、高校へ進学する人よりも厳しく切実な意味を持っています。就職の方法としては、職業安定所を通じて就職する方法と、縁故によって就職する方法があります。

ここ数年求人が少なく、職業安定所を通して職場を探すことは非常に難しい情勢です。

「今」だけでなく、1年後や3年後、さらにその先の自分の姿を見据えて、しっかりとと考えていくことが大切になります。

何のために、何を目指すか、何をしたいか、難しいとは思いますが、

しっかりとと考えていくことが力になります。

目標を持って、努力していくためにもしっかりと考えて行動ていきましょう。